

健康福祉委員会資料

1 所管事務の調査（視察）

（1）東京湾アクアラインについて

令和2年11月6日

消 防 局

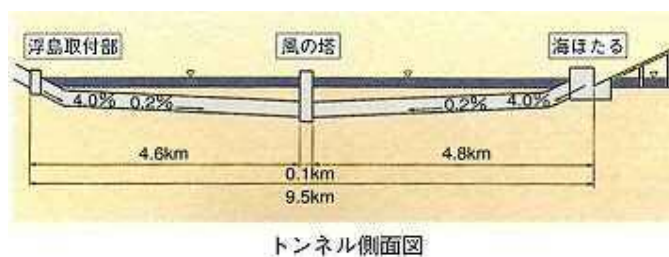
東京湾アクアラインの概要

1 開通日

平成9年12月18日

2 トンネルの特徴

- (1) 海底大水深化、軟弱地盤中でのシールドトンネル
- (2) トンネル断面が円形、車道の下に空間（床版下空間）
- (3) 左側路肩 2.5Mの路肩を確保



3 トンネル断面

外径 13.9M

4 東京湾アクアラインの消防用車両

- (1) 救急活動車2台、救助活動車2台、消火活動車2台 計6台
- (2) 常置場所は、管理Aヤードに3台、海ほたるに3台（別添資料）

管理Aヤード



海ほたる



5 その他

公益財団法人 川崎市消防防災指導公社関係

(1) 設立年月日

平成25年4月1日（旧財団の設立年月日 平成4年12月1日）

(2) 目的

消防防災に関する普及啓発及び調査研究並びに防災関係者に対する指導育成を行うことにより、火災その他の災害による生命及び財産の被害の軽減を図り、もって公共の福祉の向上に寄与することを目的とします。

(3) 東京湾アクアライン消防活動支援事業

東京湾アクアライン専用の消防用車両及び資機材の管理業務及び車両を含めた装備品の更新を行うものです。

【令和元年度実績】

ア 東京湾アクアラインの消防活動対策について、旧日本道路公団（現NEXCO東日本）との業務協定に基づいた消防車両及び資機材の保守管理業務を行うとともに、AED2基、耐電手袋6双、トリアージシート2式の消防・救急活動資機材を更新整備しました。

イ 日常点検実施回数は、目標値365回に対して実績値366回でした。

東京湾アクアラインの消防用車両

1 救急活動車



定員 15名
車両サイズ 5045×
1710×2285H
主な救急資機材 AED、
酸素呼吸器、担架、毛布、
救急セット等

2 救助活動車



定員 6名
車両サイズ 5140×
1920×2360H
主な救助資機材 可変ウ
インチ、ワイヤーロープ、
マット型空気ジャッキ、
油圧スプレッダー等

3 消火活動車



定員6名

車両サイズ5140×
1920×2360H

主な消火資機材：ホース、
CAFS、可変ノズル、
泡ノズル、台車等

管理Aヤード案内図



消防用活動車の車庫